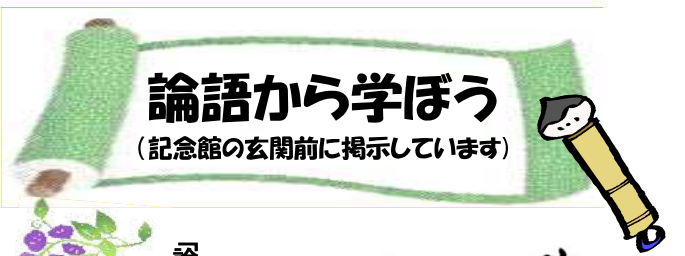


よえもん



《 第12号 》 (2021年4月発行)

令和3年度展示より

とうじゆき
「藤樹規」

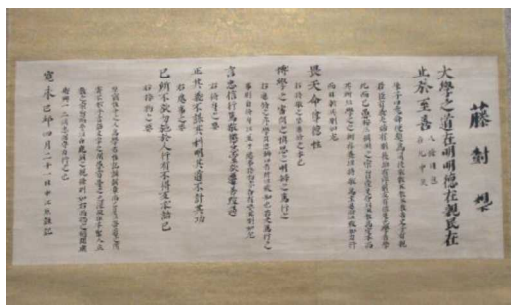
シリーズ
よえもん



令和3年度展示として9月30日まで、『藤樹規』が伝える中江藤樹の教え』を記念館で開催しています。「藤樹規」は藤樹書院の学則で、勉強をするための目的やその手段や方法が書かれています。

藤樹先生は9歳で初めて字を習い、1年で手紙も自由に書けるようになるほど、いっしょうけんめい勉強しました。11歳になって「大学」という、中国の孔子の教えを説いた本を読みました。それには、「人と生まれたものは、だれでも自分の行いを正しくすることが根本である。それが出来てこそ、人間らしい人間といえる。」と書かれていました。これを読んでたいへん感激した藤樹先生は「よく勉強して、正しい行いができる人になろう」と決心しました。

このたび展示している「藤樹規」は、32歳の春に作られたものですが、まず最初に「大学」の言葉を用いて、門人たちにその決心を伝えました。



藤樹規 (藤樹書院所蔵)



論語「述而第七」の二書

淵田瑞穂さん

黙して之を識し
学びて厭わず
人をおしえて倦まず
何か我に有らんや

「声を出さずに、物事のちがいを見分けておぼえこみ、学ぶこと、人に教えることにあきることはない。この他に私が為すことがあるか。」

これは、孔子が人に教える時の心がまえを表現したものです。孔子は、まず教える内容の本質を見つけ出し、自分の頭の中におぼえこませ、どのように教えるか何度も考え、内容や順序をまとめたのち、実際に教えていたものと思われます。

これは、私たちが人に教えようとする時の手がかりにもなるでしょう。

***** * 記念館だより * *****

新しい出会い、新しい友だち、新しい環境、新しい…。気分一新です。

新年度の始まり。「年度」と「年」。ややこしいですね。「年」なら1月始まりの12月終わり。でも、日本は企業や学校、官公庁全て4月開始の「年度」。これが世界の潮流なんて思っていたら大違い。アメリカの「年度」は企業が1月開始で学校は9月開始。お隣の韓国は国や企業は1月開始で学校は3月開始の年度。中国も国や企業は韓国と同じで学校は9月始まり。日本が4月始まり年度になったのは明治19年から。農業国であることや財政赤字を補填するための手立て等の諸説があります。最近では日本企業も欧米等との取引を最優先し、1月開始年度が多くなっています。広い視点で考えることが大切です。



近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330

